

## 単元名 書きぞめ

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 書き初めの姿勢や気を付けることを理解し、基本点画の筆使いに気を付けて書くことができる。  
 (2) 筆使いや文字の中心に気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。  
 (3) 筆使いや文字の中心に気を付けて、字形を整えて書こうとする。

## 標準的な展開例

03020204\_001

【教材名】『正月』または『友だち』（毛筆）

(P. 50～P. 56)

【準備等】書きぞめ用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～2 筆使いや筆圧に気を付けて、書き初め用紙に『友だち』を書く。  <b>★</b>筆使いや筆圧に気を付けて書こう            ○書き初めの由来を知る。            ○用具の置き方や姿勢を知る。</p> <p>○一字ずつ半紙に試し書きをする。</p> <p>○『友だち』を練習する。</p> <p>○学年、名前の練習をする。</p> <p>3～4 文字の大きさや中心に気を付けて、『友だち』を書く  <b>★</b>文字の大きさや中心に気を付けて書こう            ○『友だち』を試し書きする。</p> <p>○試し書きと教材文字と比較して、基準を理解する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて評価する。</p>	<p>・書き初め用紙に書くのは初めての経験なので用紙を折って書かせればよい。</p> <p>・書き初めの由来を説明する。</p> <p>・教科書P. 53～P. 56の写真をしながら、書き初めの姿勢には、「床の上で書く姿勢」と「立って書く姿勢」があることを理解させる。</p> <p>・2分の1の半紙を縦長に置いて書かせると、書き初め用紙の幅とほぼ同じになる。</p> <p>・教科書P. 53～P. 56の上下にある点を線で結ばせることによって、基準となる中心線がどこを通っているか確認させる。</p> <p>・それぞれの文字の筆圧について考えるよう促す。</p> <p>・条幅に書くのは初めての経験なので、文字の大きさのバランスや中心に気を付けさせる。</p> <p>・間隔がうまく取れない場合は、書き初め用紙を三つに折って書かせる。</p> <p>・大きな下敷きがない場合、用紙を一字ずつらして書くように指示する。</p> <p>・平仮名は漢字より少し小さく書くように指導する。</p> <p>・字形と点画の方向に気を付けて書かせる。</p> <p>【評】練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書P. 52の写真を見て、小筆の持ち方、筆の運び方を確認する。</p> <p>・位置や大きさに気を付けさせる。</p> <p>・字形と点画の方向に気を付けて試書するよう促す。</p> <p>・漢字と仮名の大きさの違いに気を付けて試し書きするよう促す。</p> <p>・『友』の左払いの方向の違いに気を付けさせる。</p> <p>・平仮名は漢字よりも少し小さめに書くことを確認する。</p> <p>・書き初め用紙では、均等に配置することと天地の余白をとることを指導する。</p> <p>【評】練習を通して、書き初めの姿勢と字形や点画の方向に対する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・文字の大きさや配列に注意して、正しい筆使いで書かせる。</p> <p>【評】作品や自己評価を通して、文字の大きさや中心、紙への配置に気を付けて書く「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

選択課題であるので、半紙を用いて『正月』を書いてもよい。